

平成 29 年 10 月八戸市教育委員会定例会会議録

開催日時 平成 29 年 10 月 30 日(月) 午前 10 時

場 所 市庁本館 3 階 議会第 1 委員会室

出席者	教育長	伊藤	博章
	教育委員	大庭	文武
	教育委員	築瀬	眞知雄
	教育委員	油川	育子
	教育委員	武輪	節子

事務局出席職員	教育部長	吉田	幸司
	教育部次長兼教育総務課長	橋本	淳一
	教育部次長	齋藤	信哉
	図書館長	千葉	玲子
	博物館長	古里	淳
	学校教育課長	小笠原	徹
	是川縄文館副館長	清川	定吉
	学校教育課参事	大坂	吉弘
	西地区給食センター所長	川口	晃司
	図書館副館長	中村	武夫

開 会

(伊藤教育長)

定刻となりましたので、平成 29 年 10 月教育委員会定例会を開会します。

本日の議事録署名は、大庭委員を指定します。

それでは、はじめに私から、主な会議・行事等についてご報告いたします。

主な会議・行事等

(伊藤教育長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、ご質問などありましたらお願いします。

[質疑なし]

(伊藤教育長)

これより議事に入ります。本日提出されております議案を審議します。

はじめに、議案第 41 号「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について」事務局から説明をお願いします。

議案第 41 号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について

(橋本 次長兼教育総務課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

[質疑なし]

(伊藤教育長)

それでは、議案第 41 号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

[異議なし]

ご異議がありませんので、議案第 41 号を原案のとおり決定いたします。

以上で、議案の審議は終わりました。

次に報告事項にまいります。

はじめに、「平成 29 年度第 2 四半期の業務報告について」は、事前に委員の皆さんから質問をいただいております。

【平成 29 年度第 2 四半期の業務報告について (質疑応答)】

(伊藤教育長)

まずは、14 ページの「教育の情報化推進事業」について、大庭委員からお願いします。

(大庭委員)

それでは14 ページ、総合教育センターの教育の情報化推進事業について質問します。電子黒板を中学校各1台導入したとありますが、この電子黒板について具体的な使用方法や活用方法、さらには効果として考えられるところについてお聞きしたいと思います。

(堀合 総合教育センター主任指導主事)

大庭委員の質問にお答えします。電子黒板はプロジェクターとしての機能、大きく映す機能、映し出された画面上で接続しているコンピューターを操作することができる機能を持っております。

例えば、インターネットで検索した画像等を提示し、その画像の上で操作用のペンを使用して一部だけを拡大表示できたり、使用したいソフトを立ち上げて使用するなど、これまで先生方がコンピューターの前で操作していたものが黒板上で操作できるという利便性がございます。

また、今年度は資料に記載されているとおり、9月に各中学校へ1台ずつ導入させていただきました。導入にあたっては研修会を開催するなど、導入するだけではなく先生方が授業で活用できるように操作面でのサポートも行っております。導入してまだ2カ月程ですが、先日白山台中学校で行われました中学校教育研究会の社会科部会において、今回導入した電子黒板を使った授業が行われました。授業の導入場面で使用提示をする際に、電子黒板上でより注目してほしい部分を拡大提示したり、大事な部分について書き込みをするなどという活用が行われました。電子黒板を活用することで資料を大きく見せることによる「共有化」、見せたい資料の重要な部分を拡大提示することによる「視覚化」、そして何よりも、今までパソコンに向かって説明していた内容を黒板上で行うことができるという、いつもと同じ環境で授業をすることでより「わかった」、「出来た」、「身に付いた」を実感できる授業づくりにつながっていていると考えております。以上です。

(大庭委員)

まだ導入して間もないと思うので、これからいろんな実践報告や活用がなされていくことと思います。

例えば、ただプロジェクターから映し出すのではなく、その電子黒板上で先生が書き込みを行い、実際のパソコンを操作しなくてもいいということでしょうか。

(堀合 総合教育センター主任指導主事)

実際に子どもたちが提出した資料に対してペンで書き込み添削が可能です。さまざまなアプリケーションソフト、例えば一太郎やエクセルなどで作成したデータを投影して、電子黒板上で書き込みをしたり、部分的に大きく映し出すこともできるというようなことで、非常に便利なものになっています。

(大庭委員)

今は研修を受けながら、先生方が活用していくことになると思いますが、場合によっては生徒たちが電子黒板を使用して、学習活動を進めるということも可能ですか。

(堀合 総合教育センター主任指導主事)

はい、現在中学校では教員が中心になって使用していますが、今後は生徒が実際にペンを持って活用していくことも考えております。

(大庭委員)

はい、わかりました。ありがとうございました。

(伊藤教育長)

教育の情報化推進事業についての関連質問等ございませんか。

[なし]

それでは次に、15 ページの「特別支援教育推進事業」について、油川委員からお願いいたします。

(油川委員)

年長児を対象とした「リトル」という小集団活動とありますが、この「リトル」の内容について詳しくお聞きしたいと思います。よろしく願いいたします。

(中奥 こども支援センター主任指導主事)

油川委員のご質問についてお答えします。「リトル」とは次年度小学校入学を見据えた年長児対象の小集団活動であります。目的は学校生活に必要なソーシャルスキルやスタディスキル等を身に付けさせることです。具体的には3つ掲げてあります。

1つ目は、着席行動、指示やルールにしたがって活動に参加する等の学習姿勢を身に付けること。

2つ目は、あいさつや返事、「どうぞ」、「ありがとう」などの言葉のやり取りを身に付けること。

3つ目は、勝ち負けにこだわらず、活動を楽しむ姿勢を身に付けることになっております。

より望ましい行動様式等、情緒面での療育を実施することを目的としております。参加者については、現在所属している園等でコミュニケーションや園の活動で不適を感じており、当センターにて来所相談をしているお子さんということになっております。保護者の協力がとても大事になってきますので、来所相談をしているお子さんに絞って現在は実施しております。

昨年度は先行実施ということで、試行錯誤しながら行っておりましたが、今年度本格実施を開始いたしました。まだ開始初めなので、今後目的や実施方法等を整えて、よりよい活動にしていきたいと思っております。以上になります。

(油川委員)

就学前の教育を充実させていただき、ありがとうございます。現在、何名くらいの年長児がどのくらいの頻度で活用なさっているのでしょうか。

(中奥 こども支援センター主任指導主事)

現在9月から開始いたしまして、9月は6名、10月は7名の参加ということになっております。2月まで月1回程度実施する予定で、全部で6回の計画になっております。以上でございます。

(油川委員)

小集団ということで丁寧に心に寄り添って指導してくださっていると思います。その成果、4月には期待できるかと思います。大変なことだと思いますけれども、どうぞよろしくお願いいたします。

今ご説明いただきました「リトル」に関連しまして、特別支援教育推進事業の各相談件数について少し感想を申し上げます。

第1四半期の報告では特別支援教育推進事業の主な業務状況について教育相談件数が183件、巡回訪問相談が58件、就学指導に関わる調査が28件、電話相談が5件と、合計274件の相談状況でした。前回と比較しますと、今回は約1.6倍に増えています。これは就学前の子どもたちだけの数ではないと思いますけれども、特別支援教育については幼児教育を担っているものにとって大きな課題であって、それだけにこの事業に対して今後もニーズが高まることと思います。現状では専門指導員の先生方が子どもの実態を的確に把握した上で、具体的な事例を交えてとても丁寧に指導してくださっています。そしてよりよい就学につながっています。幼保小間の連携がより深まっているといえるかと思います。

このことを受けてですけれども、いま八戸市教育振興基本計画を定めていくことと思いますけれども、その中で就学前教育の充実の項目にこれらの実績がわかるような内容を記載し、さらに高めていくことということが大切であるかと思いました。以上です。

(中奥 こども支援センター主任指導主事)

専門指導員のことについてご理解いただき、ありがとうございます。油川委員より相談件数が1.6倍に増えているというお話をいただきましたが、指導員の業務形態として、就学に向かうところで各園の巡回相談の依頼、ご要望にお応えしております。それがどうしても夏休み期間に増えるということで1.6倍増となっております。次年度は小学校入学に向けて各園もお子さんのことで大変心配なさっている面が多いと思いますので、私たちも寄り添うことができるよう、今後とも活動を続けていきたいと思っています。ありがとうございました。

(油川委員)

いつもありがとうございます。どうぞ、今後ともよろしくお願いいたします。

(伊藤教育長)

特別支援教育推進事業についての関連質問等はございませんか。

[なし]

それでは次に、15、16ページの「教育相談・適応指導教室事業」について、油川委員からお願いいたします。

(油川委員)

臨床心理士によるカウンセリングについて、第1四半期の報告では毎週水曜日に実施したとありましたが、今回の第2四半期では実施がなかったのでしょうか。もし実施がなかったのであれば、その理由をお

聞きしたいと思います。

また16ページの「その他」に、「臨床心理士による緊急対応及びカウンセリング、学校訪問を実施した」とありますが、これとの関連などもあるのでしょうかということで質問させていただきました。よろしくお願いたします。

(中奥 子ども支援センター主任指導主事)

ただいまのご質問についてお答えいたします。臨床心理士の毎週水曜日のカウンセリングは通年で実施しており、確かに「その他」に記載があるとおり第2四半期も実施しております。第2四半期は学校への訪問等、水曜日以外の勤務が少し多くなっておりまして、そういうことをお願いしたこともあり、このような記述になっておりました。わかりにくくて、大変申し訳ございませんでした。以上になります。

(油川委員)

はい、わかりました。臨床心理士の方による知見などもすごく大事だと思いますので、どうぞ今後とも続けていただけたらと思います。よろしくお願いたします。

(伊藤教育長)

はい、ありがとうございました。そのほか教育相談・適応指導教室事業について関連質問等ございましたか。

[なし]

それでは第2四半期の業務報告全般について、委員の皆さんから何かご質問ございませんか。

[なし]

第2四半期の業務報告についてはこれで終わらせていただきます。

次に、「平成29年度第3四半期の主な事業予定について」も委員の皆さんから事前に質問をいただいております。

【平成29年度第3四半期の主な事業予定について（質疑応答）】

(伊藤教育長)

まずは、3ページの「地域密着型教育推進事業」について、油川委員からお願いたします。

(油川委員)

コーディネーター研修会が11月28日に予定されているようなのですが、この受講対象者を伺いたと思います。コーディネーター以外に現場の先生方も対象になっているのかどうかということをお問させていただきます。お願いたします。

(三角 教育指導課副参事)

今お話がありましたコーディネーター研修会についてです。11月開催予定のコーディネーター研修会はコーディネーターの方のみを対象に行っております。コーディネーターの方で年数が1年目の方から10

年目までと幅が広いので、実践を共有したり、情報交換をする場として設定しております。今回は図書活用の件やキャリア教育に関わる情報をコーディネーターの方からしていただいて、そのほか各学校での取り組みを共有したり、少し困っていることがないかということでの話し合いを設けたりしたいと考えておりました。以上になります。

(油川委員)

はい、ありがとうございました。今年7月に横浜市においてコミュニティスクールについて視察研修をさせていただきました。その中で感じたことは学校側とコーディネーター側の双方がこの事業についての目的を正しく理解しているかどうか、共通理解が図られているかということが最も大切だと感じましたので質問させていただきました。今回はコーディネーターの皆さんの経験年数に幅があるということで、そういったコーディネーターの中でもまず共通理解を図っていきましょうとか、課題を解決していきましょうということでもあるかと思しますので、とても有意義な研修会だと思います。ありがとうございます。

(三角 教育指導課副参事)

今回の場合、コーディネーターの方が中心ですが、そのほかでは、4月に学校とコーディネーターの方が一緒に事業内容等の確認を行いました。6月は講師の先生に来ていただいてお話をいただきました。そして1月末には実践発表会ということでコーディネーターの方から、先生方も対象に発表していただくということで、少しずつでも学校とコーディネーターの方が共有する場というものを設定して進めたいと思っておりました。以上です。

(伊藤教育長)

はい、ありがとうございました。そのほか地域密着型教育推進事業について関連質問等ございませんか。
[なし]

それでは第2四半期の業務報告全般について、委員の皆さんから何かご質問ございませんか。

(築瀬委員)

先日デーリー東北で開催された三浦哲郎特別展について少しお話したいと思います。

12ページの図書館運営事業のところに三浦哲郎関連の記載があります。私も三浦哲郎資料展を拝見させていただきましたが、今まで三浦氏に関わる講話を何度か聞いたり、資料等も見ましたが、あれだけの膨大な資料を公開するのは大変貴重なことだったのではないかと感じています。市制施行「88」周年にちなんで、「880点」の資料を展示とのことで、「88」に絡めて工夫していると思って見てきました。三浦氏やご家族の方々のご寄附はもちろんなのですが、強く感じたのは展示されていた資料をととても丁寧に立花義康氏が残されていたということに驚きました。資料展を見られた方も、三浦氏の大きな業績ということだけではなくて、人とのつながりや絆など、八戸に深いつながりがあるということを感じたのではないかと思います。三浦哲郎文学だけに興味があるということではなくて、三浦哲郎氏に関わっている方々に興味があるという印象を感じてきました。1日や2日ではとても全部を見きれない、感じきれないような資料がデーリー東北のホールに詰まっていて、会場に流れている雰囲気がとても素晴らしく感じてきました。じっくりと浸ることができるような世界が広がっていたと思いました。

資料の展示だけではなく関連DVDも放映されていて、三浦哲郎氏の生の声や、ふるさとに対する強い想いなど、文学だけではない魅力を感じることができる特別展でした。

図書館でも今回の資料展に伴い、これからの予定で三浦哲郎作品展などが予定されているとのことでも素晴らしいと思います。担当の方々のご苦労はあったと思いますが、これからは是非さまざまな場面を利用して、ちょっとした企画でも構いませんので、八戸市民に対して公開していただければありがたいと思って感じました。ありがとうございました。

(伊藤教育長)

そのほか、なにかございませんか。

[なし]

それでは次に「平成30年八戸市成人式について」事務局から説明をお願いします。

【平成30年八戸市成人式について】

(館合 社会教育課副参事 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

[なし]

それでは次に「第7回八戸市図書館を使った調べる学習コンクール」受賞作品決定について」事務局から説明をお願いします。

【「第7回八戸市図書館を使った調べる学習コンクール」受賞作品決定について】

(千葉 図書館長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

(武輪委員)

感想を述べさせていただきたいと思います。今年で7回目ということで、図書館を使った調べる学習コンクールを開催していただきありがとうございます。応募数が昨年度は小学校で45作品、中学校で4作品あったかと思います。今年は小学校が19点、中学校が7点ということで、中学校の応募の数が少しずつですが、増えていることがとてもうれしく思いました。今回、中学校の部で最優秀賞が出てよかったとおっております。

小学校の部では、吹上小学校の吉野君や土橋君、齋藤さんは昨年に引き続いての入賞で、毎年応募しながら優秀な賞に入って、全国コンクールにも作品を応募してなど、とても素晴らしいことだと思っております。

昨年図書館で小学生や中学生の作品展示を拝見させていただきましたが、とても丁寧にわかりやすく、子どもたちが「どうしてなのだろう」というように、「なぜ」と自分で疑問に思ったことをまとめているも

のを拝見しまして、とてもびっくりしたのと、小学生もここまで調べられるのだと非常に感心しました。今はインターネットで調べたりすることもたくさんあるかと思うのですが、文字に触れながら自分が疑問に思ったことを解明していく、追及していくという探求心を養う上でも、「図書館を使った調べる学習コンクール」を今後も続けていただきたいと思っております。ありがとうございました。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。そのほか、委員の皆さんからなにかございますか。

(大庭委員)

武輪委員と同じ感想です。今の小学生、中学生が社会で活躍する時代には「自分で状況を判断して、そして行動していかなければならない」と思います。そのような状況の中で小学生、中学生がこのような形で「なぜ」そして「とは」の2つを養っていくということは非常に大事な機会だと感じています。受け身の知識を得るだけではなく、自分で取り組んでいく、「なぜ」「とは」の部分調べる学習コンクールを通して小学生、中学生が養っていくということは貴重だと思っています。是非今後も継続して活動していただければと感じています。以上です。

(伊藤教育長)

ありがとうございます。そのほか、なにかございませんか。

[なし]

それでは次に「八戸市市制施行88周年記念特別展「米」の開催について」事務局から説明をお願いします。

【八戸市市制施行88周年記念特別展「米」の開催について】

(古里 博物館長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

[なし]

事務局からは以上のようなようです。

それでは最後に「その他」ですが、委員の皆様方から何かございますか。

[なし]

閉 会

(伊藤教育長)

それではこれをもちまして平成29年10月の教育委員会定例会を閉会いたします。

(午前10時56分閉会)